

2 ISEF 2017（ロサンゼルス大会、5/14(日)～5/21(日)）に参加して

ブース展示、ブースの基準審査から ISEF 審査へと準備は順調に進みました。ISEF 審査では、各回 15 分間の審査を 8 回受けました。その中で、受け答えが上手くできた審査回もありましたが、審査員の英語が聞き取れずに会話が停滞した場面もありました。

結果としては、上位者 1 割程度に与えられるグランドアワードの受賞には至りませんでした。

今回の ISEF 参加を通して得た、受賞のために注意すべきポイントには次の各点があげられます。

- (1) 研究課題については、人間生活に応用や貢献できるテーマを選ぶと高評価が得られやすい。
- (2) 海外の研究では個人研究が多いので、グループ研究の場合には、役割分担など、なぜグループ研究でなければならないかが必ず質問される。
- (3) 研究のポイントを英語で的確にアピールすることが重要（プレゼンの配点が最も高い）。
- (4) 事前に提出する Abstract はすでに発表の一部となっている。審査員は Abstract を読み込んでブースに来るので、そこにアピールポイントなどが明確に書いてあると、初めから意図が伝わり易い。また、Special Awards は、Abstract によって事前に受賞候補者が絞られているので、Abstract のできが良くないと審査もされない。
- (5) 実験で得たデータについては、統計的な手法など、信頼性をどのように評価したかが問われる。
- (6) 従来的手法を改善する研究では、それまでの手法との違いについて問われる。今回は、シャボン膜の膜厚の測定法を 1 つのポイントにしたので、市販の測定器との違いが問われた。